

2023年5月30日  
株式会社トリプルアイズ



## 2023年8月期 第2四半期決算 決算補足資料（質疑応答集）2

この質疑応答集は、2023年4月17日(月)の2023年8月期 第2四半期決算発表に関して機関投資家・金融機関等の皆様からのお問い合わせおよび主なご質問をまとめたものです。ご理解を賜ることを目的として一部内容・表現の加筆・修正を行っております。

### Q 01

SI部門の市況についてどのように見通していますか。

### A 01

市場におけるエンジニアへの需要は今後も増え続けるものと見通しています。当社では、新卒採用を積極的に行い計画的な研修で技能向上を図るとともに、協力会社などからのエンジニア調達も順調に推移しており、需要に応え得る体制を構築しております。

### Q 02

検温関連のAIZE製品の需要が減少しているとの説明ですが、今後AIZE事業においてはどのような製品の販売を見込んでいますか。

## A 02

顔認証については、勤怠、マーケティング、決済についての需要に対応したサービスを展開していきます。また、当社の AI エンジニアの知見をより高付加価値な商材として展開するために、決算説明資料（P45）にあるように、AI ラボ契約により、リソースを安定的に確保しつつお取引先のニーズに対応していくことを行っていきます。AI カメラによるセキュリティの新サービスも事業会社と連携して開発していく予定です。さらに、テレビ東京系の報道番組にて取り上げられた感情分析など当社独自の取り組みや、ChatGPT を活用したサービスについても取引先からの引き合いを受けている状況であり、事業として展開していく準備を進めております。

## Q 03

減損損失の理由に改正道路交通法施行の延期が挙げられていますが、こちらは法律が施行されると業績の上振れ要因になるのでしょうか。

## A 03

アルコールチェックの義務化についてですが、施行が業績の上振れ要因になる可能性はあると考えています。義務となりますので、非常に多くの企業様が導入すると予測しております。これまでも展示会などを通じて多くの企業様とお話しさせていただき、好感触を得ております。ただし、現在施行の時期が読めないということで、今回、減損損失の判断をいたしました次第です。

## Q 04

ChatGPTの登場は御社の事業に与える影響はいかがでしょうか。チャンスになるのかリスクになるのかお答えいただけますか。

## A 04

チャンスという部分では画像認識AIの精度向上に言語処理能力が影響を与えるのではないかと考えております。さらに、注目を浴びている大きな技術トレンドである生成AIの分野では、GAN（敵対的生成ネットワーク）と呼ばれる画像認識技術とGPT4の融合によって、さらに大

きなイノベーションが起こるであろうと言われています。これによってAIあるいは画像認識技術が社会に浸透するスピードが加速し市場も拡大することから、大きなチャンスになると捉えております。

その裏側にはリスクも存在しており、多くの方々がAIに対する脅威を感じているのも事実です。私たちはこのリスクに対応するために、他社に先駆けてELSI（倫理的・法的・社会的課題）に取り組んでまいりました。具体的には、XAI（説明可能AI）やCAI（共進化AI）の開発を進め、人とAIがそれぞれの得意領域において役割を分担して協働し、共に成長・進化する世界を目指しております。

## Q 05

23年8月期の業績予想を踏まえ、24年8月期、25年8月期がどのような業績推移となるか考え方をお聞かせください。特にAIZE部門と人員採用についてお聞かせください。

## A 05

今回業績の下方修正を行いました。24年8月期、25年8月期は、次なる成長に向けてジャンプしていきたいと考えております。その中で大きな要因となってくるのが、リソースシフトをしているAIZE部門の顔認証サービスであり、大手企業様の導入がポイントになると考えています。無人店舗や顔認証改札、パスワードレスなど、顔認証AIに対する社会的な需要が拡大してくると予想しますので、ブレークスルーポイントを見極めながら、皆さんに対して逐次情報開示を行っていきたいと考えております。一方で、業務の効率化を図り利益率の改善も行っていく所存です。人員の採用については、引き続き拡大していく方針です。「エンジニア成長第一主義」というメッセージを掲げ、先端技術の追求と社会実装の両面を追い続ける当社ならではの価値を若いエンジニアに届け、人材を質量ともに拡大していきたいと考えております。